

名作アニメ絵本シリーズ

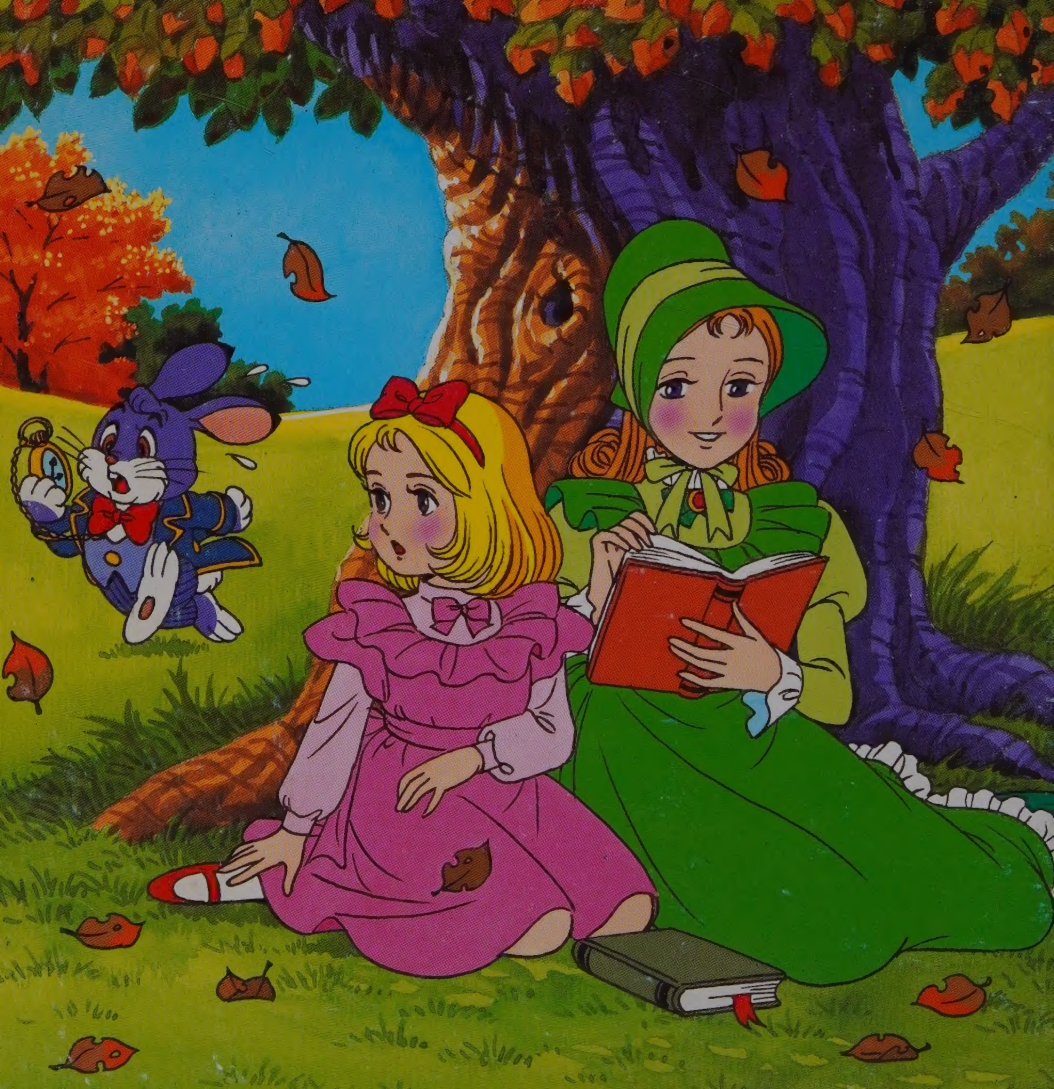
25

ふしぎの国のアリス

く に あ り す



PUBLIC LIBRARY
SAN MATEO, CA., 94402-1592



あきの はれた 日、

アリスは おねえさんと

本を よんでいました。

……そこへ うさぎが とけいを

見ながら はしってきました。

「たいへんだ、ちこくしてしまふ。」

ふしぎな うさぎです。

「なにかしら、ついていってみよう。」

アリスは、おもしろがつて うさ

ぎの あとを おいました。





うさぎは、ピョンと

うさぎあなに　すがたを

けしました。

「ママまに　しかられるかしら。」

アリスありすは　そう　おもいながら、

うさぎの　あとに　つづきます。

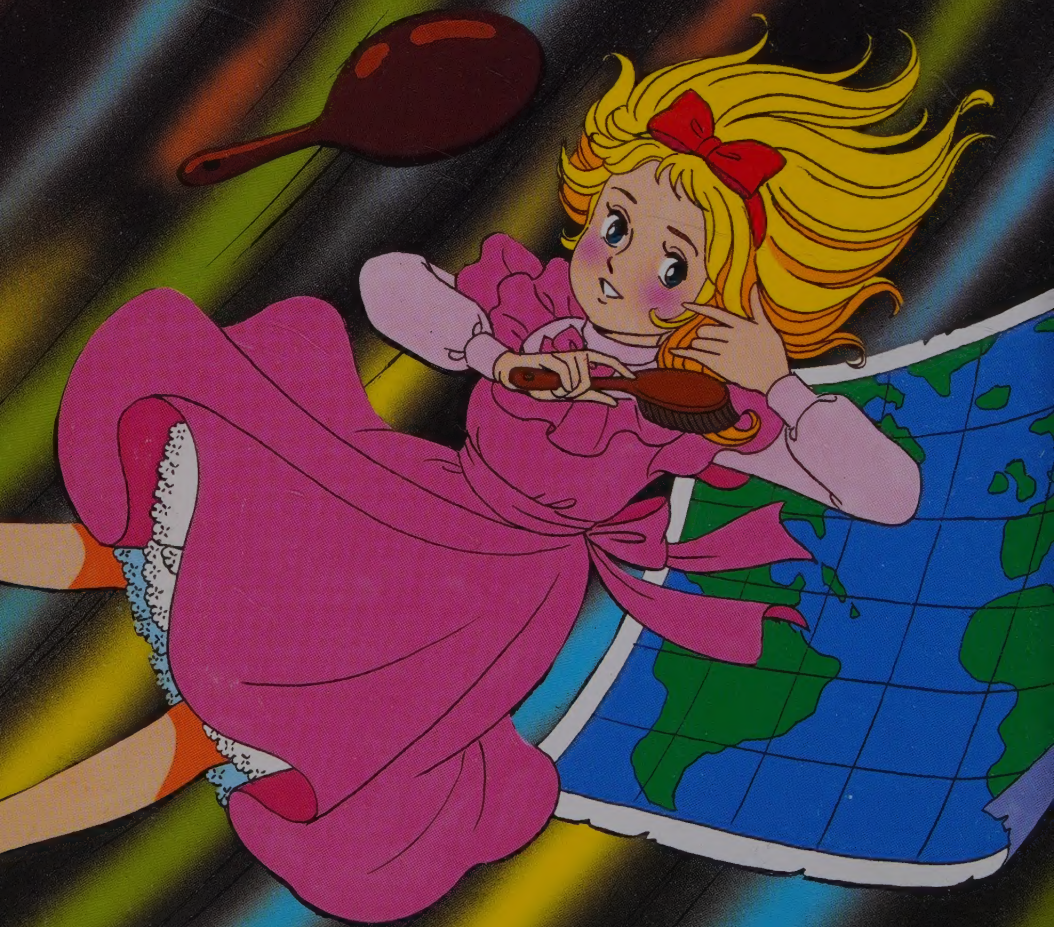
まっくらな　ながいながい　あな

でした。

「ちきゅうの　まん中なかあたりまで

おちてきたようね。」





おちていく とちゅう、

アリス^{ありす}は あなの

かべに かけてある

ちずを 見^みました。

「このまま いくと ちきゅうの

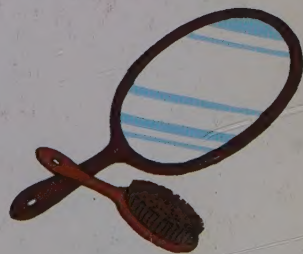
はんたいがわに でるのかしら。

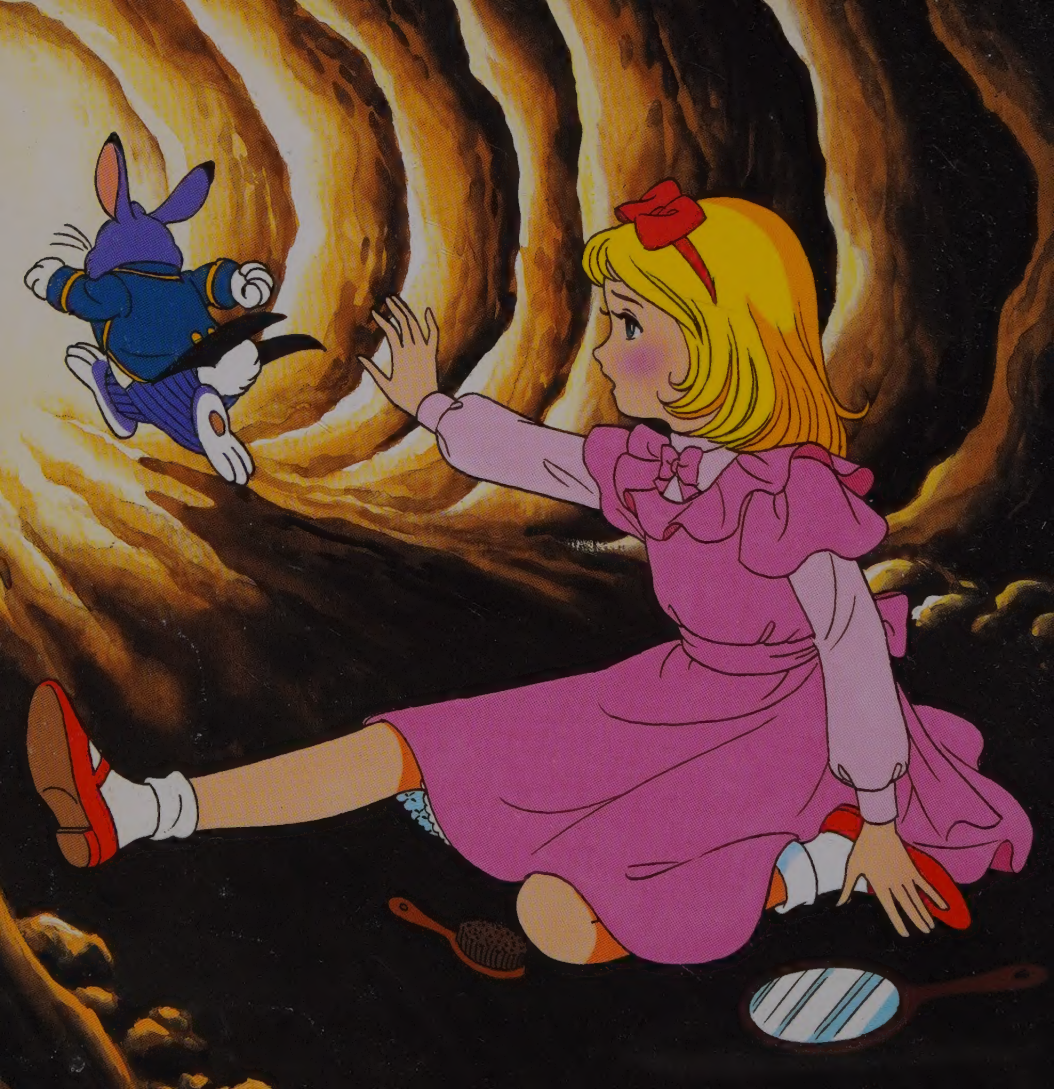
みんな びつくりするでしょうね。」

アリス^{ありす}は、こんどは かべに

かけてある くしで、かがみを

見^みながら、かみを とかしました。





ドス^{どす}ン!

アリス^{ありす}は あなの

そこに しりもちを つきました。

すこしも いたく ありません。

見^みると むこうに うさぎが ピ^ぴ

ヨン^{よん}ピ^ぴヨン^{よん} はねて いきます。

「うさぎさん、まって! こんな

ふかい あな、^{ひとり}一人では あがれな

いわ。かえりみちを おしえてちょ

うだい。」





「たいへんだ

ちこくする！」

うさぎは ふりむかずに

はしっていき、ドアどあの 一つひとつに

とびこんでしまいました。

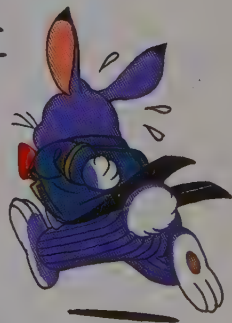
「わたしも おやつ の じかんに

ちこくしてしまおう。」

アリスありすも その ドアどあから 入ろはい

うと しましたが、 ドアどあが 小ちいさく

て 入はいれません。





アリス^{ありす}がないて

いると、^{てーぶる}テーブルの

^{うえ}上の^めかみが目に^{とまりました。}

『^{じゅーす}ジュースをどうぞおのみくだ

さい』

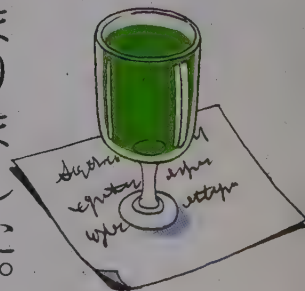
と、かいてあります。

「まあ、おいしそう。」

アリス^{ありす}はごくんとのみました。

するとどうでしょう。アリス^{ありす}は

みるみる^{ちい}小さくなりました。





気が つくと、

アリスは ありす じぶんの

なみだで できた

水 みず たまりに うかんでいました。

まわりには いろいろな どうぶ

つが およいで います。

やがて、どうぶつたちは きしに

あがりました。

ドードーどりと わに なって

おどりはじめます。





そのとき

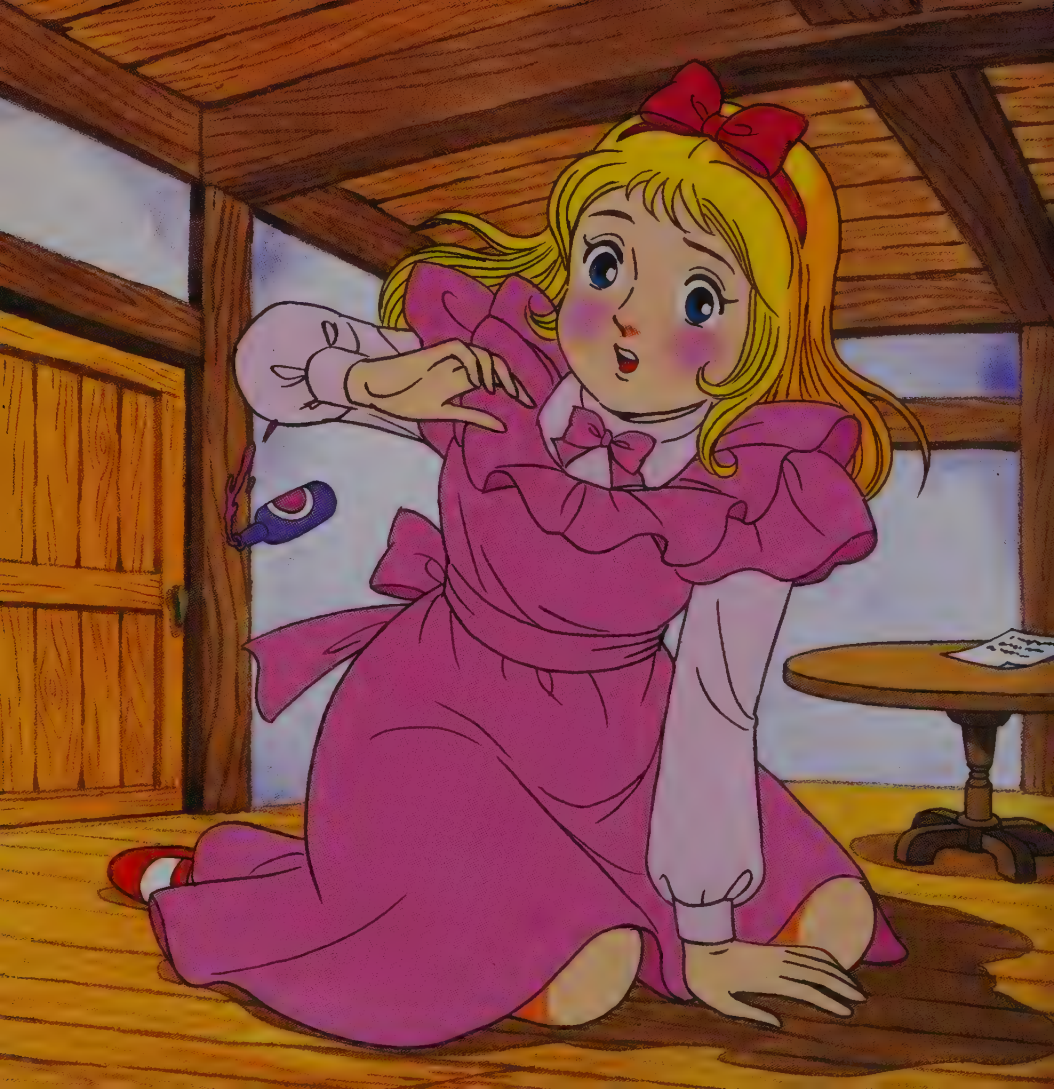
むこうから うさぎが
はしってきました。



「こまった こまった。手^てぶぐろと
せんすを なくしてしまった。女王^{じょおう}
さまに しけいに される。」

アリス^{ありす}は さけびました。

「うさぎさん まって。手^てぶぐろと
せんすは、わたしが ひろって も
っているのよ。」



うさぎが

いえの なか 中に

入はいっていったので

アリスも ありす おいかけました。

ところが うさぎは み 見あたりま

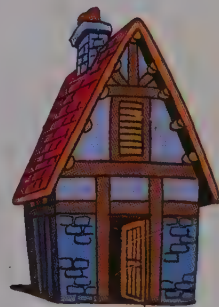
せん。

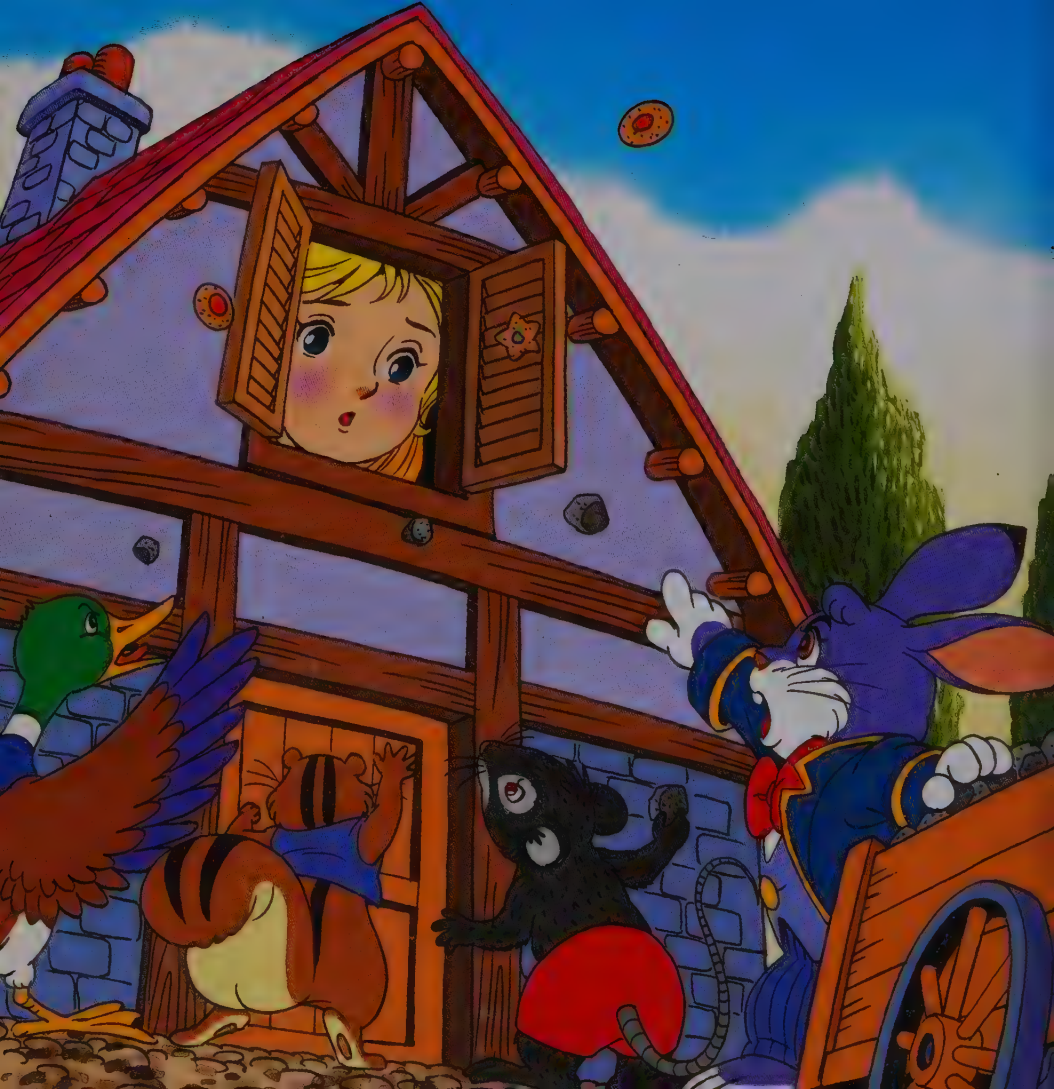
テてーぶるーブルに ジじゅーすュースが ありま

した。アリスが ありす また ごくんと

のむと、アリスの ありす からだは みる

みる おお 大きくなりました。





二^にかいの まどから

そとを 見^みると、

うさぎが 車^{くるま}に 石^{いし}を つんで

やってきました。

「あ^おの 大^{おお}きな ばけものを やっ

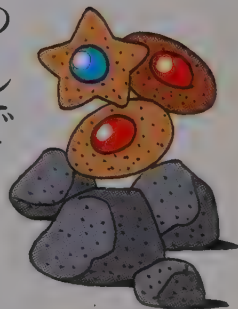
つけろ。」

みんなは アリ^{あり}スに 石^{いし}を なげ

つけました。 小^{ちい}さな 石^{いし}つぶは、お

かしに かかります。

アリ^{あり}スは ひろって たべました。





すると アリスは

また 小ちいさくなりました。

犬いぬが ワンワン おいかけて



きます。

アリスは きありすのこの かげにか

くれました。そこには 青虫あおむしが す

わっていました。

「青虫あおむしさん、大おおきくなるには どう

したら いいの、おしえて。」

「この ききのこを おたべ。」



アリスは ありす きのこを

一口 ひとくち たべました。

すると あら ふしぎ。

くびが ヒュルヒュルと 空 そら たか

く のびてしまいました。

「へびめ、わたしの たまごを と

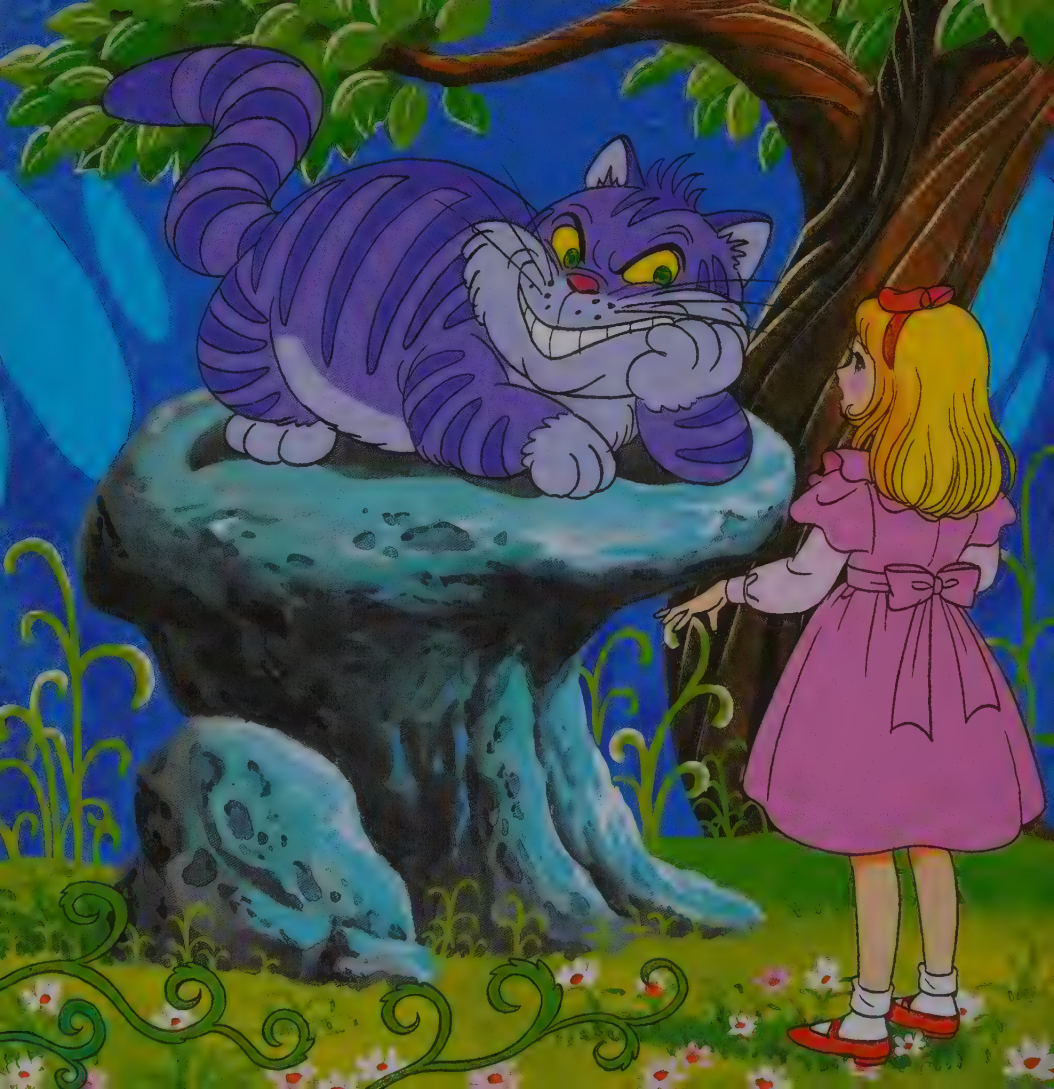
りに きたのね！」

はとが アリスを ありす つつきます。

アリスは ありす きのこを もう 一口 ひとくち

たべました。





すると もとの

大きさに ^{おお} もどりました。

それを ^{にや}ねこが ^{おにや}ニヤオニヤオと

わらって ^み見えています。

「わらってないで、うさぎさんが

どこに ^いいるか ^{おしえて}。」

「むこうに ^{ぼうし}やと ^{さん}三月うさ

ぎが ^いいるから、^きいてごらん。」

アリスは、^{ありす}ねこが ^{しめ}したし

っ^ぽの ^{ぼう}へ ^いきました。





しばらく　いくと、

ぼうしやと　三月^{さんがつ}うさぎと

ねむりねずみが

ティー・パーティー^{ていーぱーてい}を　していました。

「うさぎさんを見^みかけませんか？」

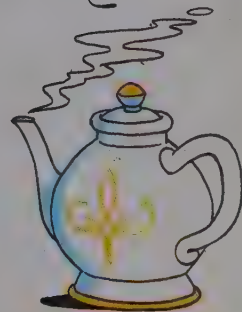
「おしえてあげるから、ここにす

わって　ジュース^{じゅーす}と　ケーキ^{けーき}を　お

たべ。」

アリス^{ありす}は　せきに　つきましたが、

ケーキ^{けーき}も　ジュース^{じゅーす}も　ありません。





「ケー^{けー}キも ジュ^{じゅ}ースも

どこにも ないわ。」

「それなら

おちやでも のみなさい。」

コッ^{こっ}プは からっ^ぷぽでした。

「もつと たくさん おのみ。」

アリ^{あり}スは あきれて いいました。

「人^{ひと}を からかっているのね。そん

な 人^{ひと} きらいです。さようなら。」

みんな ざんねんそうでした。





しばらく
とらんぷの
しよく
にんが、白い
バラを

赤いペンキでぬっていました。

アリスはわけをききました。

「女王さまは白いバラがきら

いなのに、もうすぐここをと

ります。見つかる、くびをきら

れるのです。」

「まあ、ひどい女王さまね。」





ぎょうれつが

やってきました。

女王^{じょおう}は 一つ^{ひとつ}だけ

ぬりのこした 白^{しろ}い バラ^{ばら}を 見^みつ

けて、かんかんに おこりました。

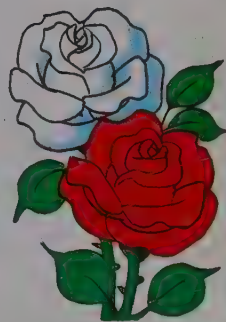
「アリス^{ありす}、この かたなで 二人^{ふたり}の

くびを きりなさい。」

アリス^{ありす}は 二人^{ふたり}を 木^きの しげみ

につれていき、かたなに 赤^{あか}い

ペンキ^{ペンキ}を ちのように ぬりました。





こうして 女王じょおうを

だますと、アリスありすは

かえりみちを たずねました。

「フラミンゴの バツばつと、ハリネ

ズミずみの たまで、クリケツくりけつとをし

て かてば おしえてあげる。」

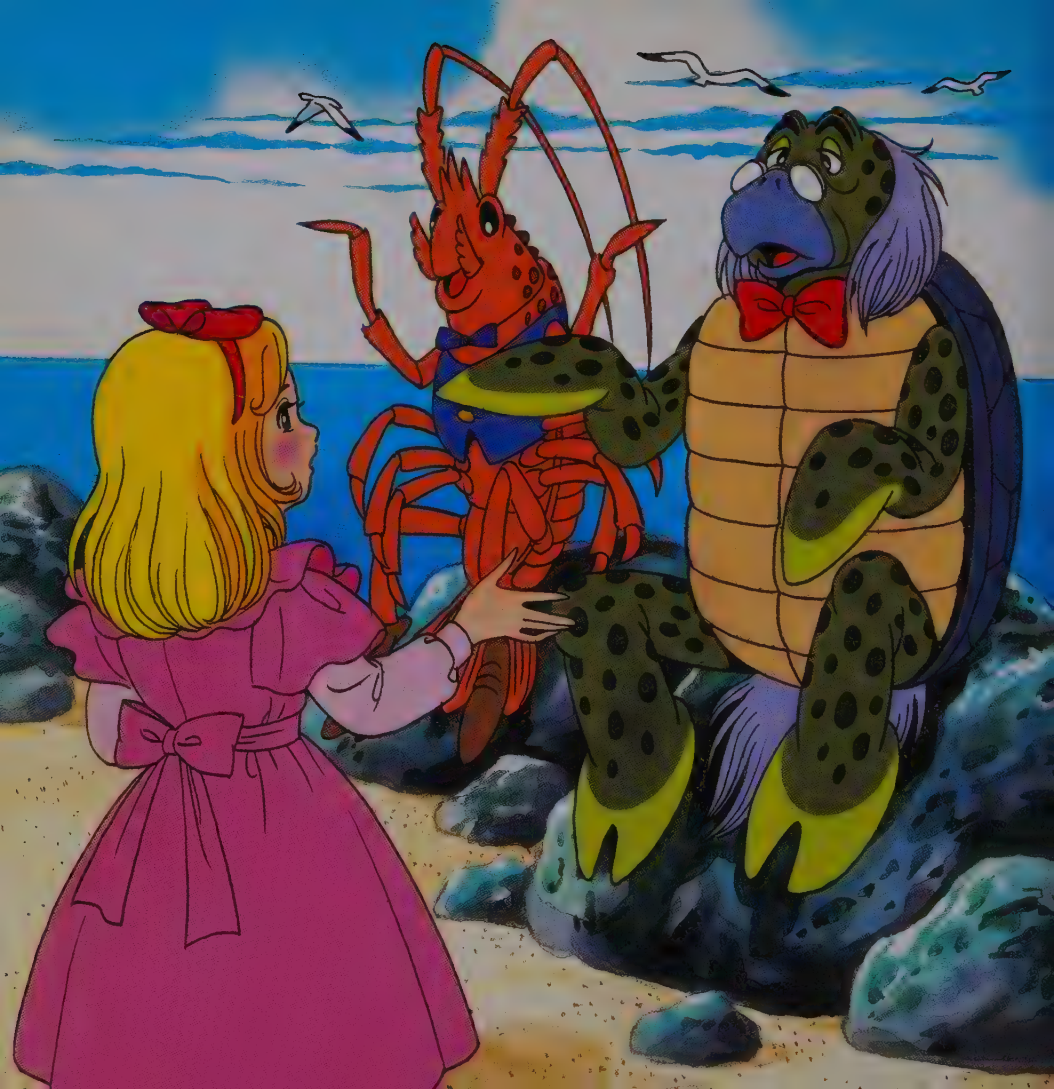
アリスありすは、力ちからいっぱい たまを

うちましたが しっぱいしました。

ほんとうは、アリスありすが かてば

しけいに される ところでした。





「女王さま、
じよおう

どうか かえりみちを

おしえてください。」

アリスが ありす たのむと、女王は じよおう

「あそこに いる グリムフオンと ぐりむふおん

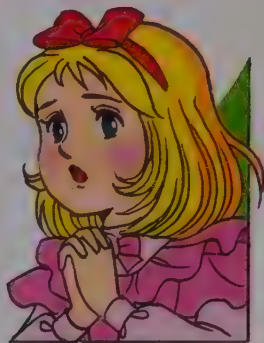
にせうみがめに きくが よい。」

アリスが ありす たずねると、二人は、 ふたり

「それなら えびに ききなさい。」

えびは おお 大ごえで いいました。

「さいばんしよで ききなさい。」





アリスは ありす さいばん

しよに いきました。

そこでは はーと ハートの

ジャックが じゃっく さばかれていました。

しょうにんに さんがつ ぼうしやと 三月

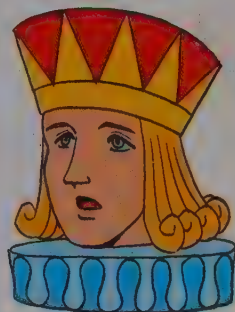
うさぎが たちました。

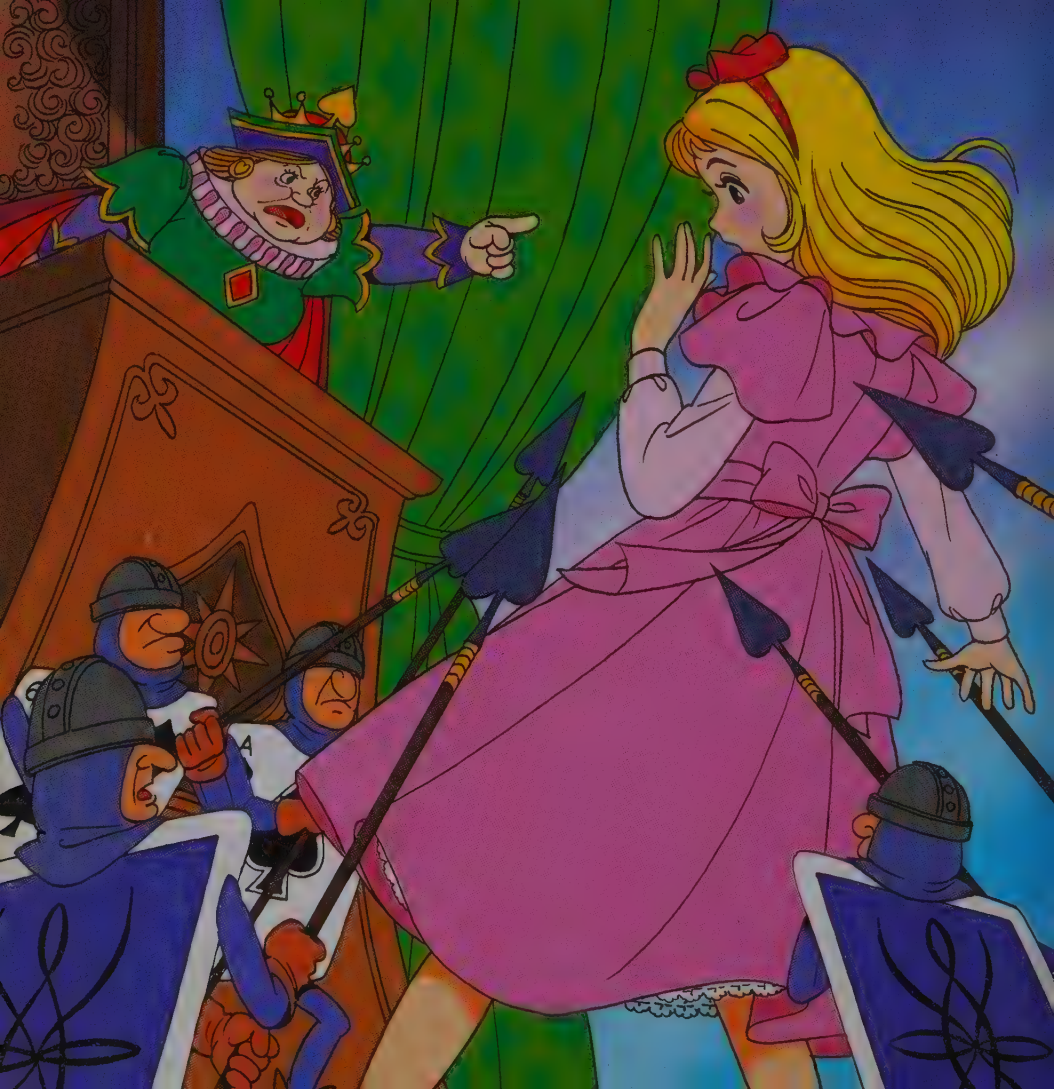
「女王の じょおう パイを ぱい ぬすんだのは、

はーと ハートの じゃっく ジャックです。」

じょおう 女王は、はんけつを いい いいました。

「はーと ハートの じゃっく ジャックは しけい しけい！」





アリスは あきれて、

「そんな かんたんに

しけいなんて いけないわ！」

アリスが おこると、とつぜん

からだが 大きくなりました。

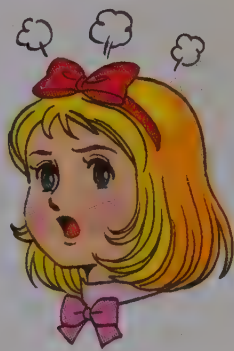
「大きな こえと 大きな からだ

の ばけもの女を ころせ！」

女王が めいれいすると、トラン

プの へいたいが やりをもって

アリスに かかってきました。





「キヤーッ。」

そのとき

上のほうで、おねえさんのこえ

がしました。

「アリス、アリス、おきなさい。」

「なんだ、ゆめだったの。」

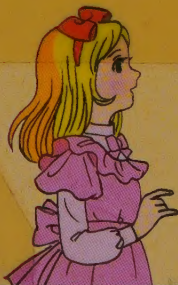
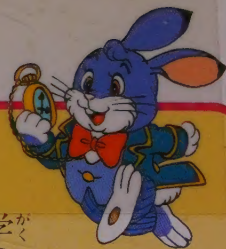
アリスが目をさますと、おち

ばがトランプのへいたいのよう

にかおにまいおりました。

「どんなゆめを見ていたの？」





「ふしぎの国のアリス」は、イギリスのオックスフォード大学の先生チャールズ・ドジスンが、愛する少女アリスに書いてあげたお話を、一八六六年ルイス・キャロルというペンネームで出版したものです。世界じゅうの子どもにも愛されている夢の中のお話です。



San Mateo
Public Library

名作アニメ絵本シリーズ㉔

ふしぎの国のアリス
ルイス・キャロル作

1996年3月10日発行

●著者／平田昭吾 ●製作／(有)アニメ企画 山谷泰子
●画／大野 豊 ●発行人／永岡修一 ●発行所／(株)永岡書店 〒176 東京都練馬区豊玉上1の7の14 電話03(3992)5155 ●印刷／横山印刷 ●製本／大村製本

ありす
アリスと

おねえさんは、手^てを

つないで ゆうやけ空^{ぞら}の

下^{した}を かえっていきました。





9784522016558



1918076003605

ISBN4-522-01655-7

C8076 P360E

名作アニメ絵本シリーズ

- ①ながぐつをはいたねこ
- ②シンデレラ
- ③イソップものがたり①
- ④しらゆきひめ
- ⑤三びきのこぶた
- ⑥おやゆびひめ
- ⑦みにくいあひるの子
- ⑧にんぎょひめ
- ⑨あかずきんちゃん
- おおかみと七びきのこやぎ
- 小公女
- ピーターパン
- いとり
- いくつ
- くちょうのみずうみ
- ちかち山
- るかにばな

- ⑩一休さん
- ⑪かぐやひめ
- ⑫ももたろう
- ⑬ナイチンゲール
- ⑭しあわせのポリアンナ
- ⑮ピノキオ
- ⑯そんごくう
- ⑰ふしぎの国のアリス
- ⑱ヘレンケラー
- ⑲オズの魔法つかい
- ⑳イソップものがたり②
- ㉑ねむりの森のひめ
- ㉒ジャックと豆の木
- ㉓オズのオズマひめ
- ㉔若草ものがたり①
- ㉕若草ものがたり②
- ㉖くるみわり人形
- ㉗はくちょうの王子
- ㉘アルプスの少女ハイジ
- ㉙みつばちマーヤ
- ㉚マッチうりの少女
- ㉛名犬ラッシー
- ㉜ヘンゼルとグレーテル
- ㉝イソップものがたり③
- ㉞ゆきの女王
- ㉟アリババと40人のとうぞく
- ㊱小公子
- ㊲ブレーメンのおんがくたい
- ㊳田をたずねて
- ㊴こじかものがたり
- ㊵たから島
- ㊶彦ーとんちばなし
- ㊷シンドバッドのぼうけん
- ㊸フランダースの犬
- ㊹アラジンと魔法のランプ
- ㊺つるのおんがえし
- ㊻赤毛のアン
- ㊼人形のへいたい

- ㊽わらしべちようじゃ
- ㊾はだかの王さま
- ㊿あしながおじさん
- ㊽三年ねたろう
- ㊽トム・ソーヤーのぼうけん
- ㊽ねずみのよめいり
- ㊽かもとりごんべえ
- ㊽ガリバーのぼうけん
- ㊽ねずみのおんがえし
- ㊽王さまの耳は口バの耳
- ㊽しあわせな王子
- ㊽ふしぎなたいこ
- ㊽うりこひめ
- ㊽かがみの国のアリス
- ㊽こびととくつや
- ㊽ねこにすず
- ㊽金のがちよう
- ㊽ハメルンのふえふき
- ㊽かえるの王子さま
- ㊽ライオンのおよめさん
- ㊽はなよめになったねこ
- ㊽イワンと火のとり
- ㊽ドラゴンとおひめさま
- ㊽こじかひめ
- ㊽ありとちようちよう
- ㊽かあさんぎつね
- ㊽美女と野獣
- ㊽おひめさまのなぞなぞ
- ㊽三まいのはねと王子
- ㊽オズとにじのくに
- ㊽森の王子
- ㊽ゆきばらべにばら
- ㊽ねずみのおひめさま
- ㊽月のてんし

アニメ昔ばなしシリーズ

全10巻



San Francisco Public Library

書店・定 M 3 9047 08509758 8



4 951119 016559